

型式適合認定書別添仕様書及び図面

建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定による流量調整型担体流動ろ過循環方式
【大臣認定番号(認定年月日): DW3N-0169(平成30年6月12日)】

会社名

株式会社 **クボタ**
〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号
電話06-6648-2111

型式

クボタ浄化槽 KRZ-2A1

型式適合認定番号

型01CafOa1024707 認定年月日 令和3年12月24日

処理対象人員

51人~500人 日平均汚水量 5.1~127.5m³/日

流入BOD

50~450mg/L

放流水質

大臣認定による性能: BOD 20mg/L以下, COD 30mg/L以下
SS 10mg/L以下, pH 5.8~8.6
大腸菌群数3,000個/cm³以下
n-ヘキサン抽出物質 20mg/L以下

仕様表

有効容量 (m ³)	ばっ気型スクリーン	0.590~1.595
	流量調整槽	3.041~31.899
	固液分離槽	4.583~8.104
	第一ろ過槽	1.000~5.125
	担体流動槽	2.984~30.978
	担体ろ過槽	1.000~5.125
	処理水槽	0.712~3.702
	消毒槽	放流ポンプ槽付き 0.238~1.394, 自然放流 0.238~1.558
	汚泥濃縮貯留槽	5.364~34.467

寸法 (mm)	ばっ気型スクリーン	幅900	長さ750~1100	深さ1000~1750
	流量調整槽	幅2500	長さ2000~9100	深さ750~1550
	固液分離槽	幅2500	長さ1200~2000	深さ2100
	第一ろ過槽	幅800	長さ800~4100	深さ2050
	担体流動槽	幅2500	長さ850~7350	深さ2050
	担体ろ過槽	幅800	長さ800~4100	深さ2050
	処理水槽	幅900	長さ350~2050	深さ2050
消毒槽	放流ポンプ槽付き	W400, L350~2050	H1750	
	自然放流	W400, L350~2050	H1750~1950	
汚泥濃縮貯留槽	幅2500	長さ1600~8700	深さ2100	

く 体 材質:FRP(ガラス繊維強化プラスチック) 板厚8mm以上
仕 切 板 材質:FRP(ガラス繊維強化プラスチック) 板厚6~9mm以上

材料及び機械設備	第一ろ過槽担体	形状	中空円筒状
		材質	PPまたはPE
		寸法	φ14~16×L15mm
	担体流動槽担体	BOD容積負荷	1.00kg/m ³ ・日以下
		充填率	30~55%
		形状	角形スポンジ状
	担体ろ過槽担体	材質	PUまたはPVA
		寸法	20口×20mm
		比表面積	300m ² /m ³ 以上
	消毒槽	形状	中空円筒状
材質		PPまたはPE	
寸法		φ14~16×L15mm	
送風機	比表面積	380m ² /m ³	
	薬剤接触時間	15分以上	
	薬剤の種類と接触方法	塩素錠剤・浸漬式	
送風機	薬剤の貯留日数	14日以上	
	形状	ダイヤフラム式またはロータリー式またはルーツ式	
吐風機	吐出風量	60~4,280L/分	
	台数	2台以上	

仕様の	流入管・移流管	PVC (硬質塩化ビニール)	内径(mm)	40~200
	放流管	PVC (硬質塩化ビニール)		40~150
	汚泥移送管・エアフト管	PVC	13~100	
	送気管	PVC		
	マンホール	材質 鋳鉄/レジンコンクリート プラスチック(PP/FRP)	600	
	チェッカープレート	材質 縞鋼板/鋳鉄/FRP		

注) 寸法の単位はmm、容量の単位はm³とする
注) 容量、寸法については範囲で示す。
注) 「深さ」は有効水深とする。

特記事項
・振動・騒音・防音対策は必要に応じて行う。
・流入・設置条件によりオプション槽を組み合わせる。
・オプション槽とは原水ポンプ槽、油水分離槽、汚水貯留槽、処理水貯留槽、水中プロフ槽などを言う。
・必要に応じて消泡装置を設ける場合がある。
・非常用排出管は移流管と合流し、固液分離槽へ配管する場合がある。
保守点検の頻度: 1回/2週 以上
清掃の頻度 : 1回/2週 以上

